

(様式1-表)

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	69	豊田市立 御蔵小学校	代表	山本 昭彦
------	----	------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	『御蔵の魅力』再発見 サブテーマ 地域にある自然や人を生かして学び、発信しよう	分野 i(その他)は分野を右欄に記入	b	地域連携
学校づくりの視点（ねらい）	地域の自然や人々と関わったり、主体的に地域に働きかけたりすることで、子どもと地域の距離は近くなる。御蔵の風土に見守られながら、子どもたちは多くの知恵や生きる力を受け継ぎ身につけていく。それら貴重な体験を積み重ねることで自分の生き方を考え、主体的に行動する力が育つと考える。この地で地域の自然や人々と関わった体験が、子どもたちの生きる力となるように、計画的・系統的に特色ある活動を仕組む。 (1) 豊かな自然と地域の温かい人々との交流を通して、そこに根付く伝統や文化からよさや知恵を学び生きる力を身につける。 (2) 様々な活動を通して、自ら学び・考え・主体的に判断し、問題を解決する力を育てる。さらに、学んだことを地域に発信することでコミュニケーション能力や地域を愛する心を育てる。 (3) 校内整備の充実を図り、安心・安全な学校の環境を整えるために校内整備員を活用する。(花壇の花の整備や校内草刈)			
活動内容・計画	(1) 低学年 「みくらみつけたい」 校地や学区にある自然物を利用して創作活動等を行ったり、畑で野菜を栽培する。 御蔵学区の探検を行うことで、この地の自然や風物および地域の人々と積極的に関わる。 「みくらのステキさん」に学ぶことにより御蔵の魅力を知る。 (2) 中学年 「御蔵の自然守り隊」 御蔵の自然の現状を知り、自然を守っていくために自分たちができるることを考える。 畑で野菜を栽培し、その苦労や収穫の喜びを知る。 (3) 高学年 「御蔵の宝・伝え隊」 米作りを通して地域の方と触れ合い、苦労や喜びを知る。 地域に残していきたい、もの、こと、人を探究し地域の宝を伝えていく。			
補助員配置	校内整備員（整備）			
実績・期待される効果	・御蔵の自然や人に直接関わることで、御蔵のよさを感じることができる。 ・地域へ出かけ地域の方々との関わりを広げることで、地域の方や保護者の学校に対する理解と愛着がさらに深まる。 ・円山発表会で、子どもたちが体験的に学んだ地域のよさを調べ、まとめ、発信する能力を養うことができる。また、子どもたちの発表を見ていただいた保護者等も子どもたちが見つけた地域のよさを知ることで、地域や学校への関心を高めることができる。			
検証方法	・学校だより、学年だよりで特色ある学校づくり推進事業活動に関わる内容をタイムリーに紹介する。特に、ホームページでは各学年活動の様子が広く伝わるように更新する。 ・円山発表会では、活動の成果を伝えられるように発表の仕方を工夫し、保護者等へのアンケートを実施する。 ・特色ある学校づくり推進事業に関わる項目の保護者の評価や意見から成果と反省を全職員で共通理解する。			